

子どもや家族の心理社会的支援

セラピューティック・アプローチを中心に

1. セラピューティック・アプローチ

(1) 定義

医療を受けるという事態は、子ども本人、さらに家族にとって強いストレス状態を引き起こし、健全な発達を妨げる可能性をもつ。医療を受けるすべての子どもと家族を対象として、医療に伴う強いストレス状態を緩和し、発達を促進するという目的をもつ心理社会的支援をセラピューティック・アプローチと呼ぶ。

(2) セラピューティック・アプローチの担い手

保育士、チャイルドライフスペシャリスト、プレイスペシャリスト、など
教師、臨床心理士など

各々の特性を活かした役割分担と協働が必要であるが、混乱した状況もみられる

2. 親しみのある病院環境の提供 Familiarize hospital environment

(1) 物理的環境

- ① 家族と子どもがゆったり過ごせる病室
- ② 体調に合わせて過ごせ、しかも緊張をほくしてくれる外来待合室
- ③ できる限りともだちと一緒に、のびのびと、安全に遊びができるプレイルーム、ティーンルーム
- ④ 自然に触れることができる広場
- ⑤ 学習ができる部屋
- ⑥ 一人になれる場所
- ⑦ 相談に応じてくれる場
- ⑧ 病院の中にある病院ではない場所としての院内学級

(2) 人間環境

働く人たちの、子どもを受け入れようとする姿勢と、工夫
チームの質的向上

(3) 留意点

- ① 安心できる環境
- ② 発達段階に応じた環境
- ③ 選択肢が拡大する環境
- ④ 個別化が図れる環境
- ⑤ 家族中心の環境

3. 日常性の確保 Normalize environment

(1) 子どもにとっての日常

大人と友達に囲まれ、そして、遊びを含む文化を取り入れながら生活し、育ち、発達していくこと

(2) 病気療養中の心理への配慮

病気の子どもの固有の意識の流れ、文脈(コンテキスト)を押さえた支援

(3) 支援の基本課題(入院の場合)

- ① 子どもの必要を、発達段階、病状、親子関係、生活状態などを踏まえ、正確にアセスメントする
- ② 保護者への介入とセットで、あるいは保護者をチームの一員と考えて、介入計画を立て、実行する
- ③ 医療チームの全員が子どもの遊びの状態が分かるように記録を行い、医療チームの構成員が介入の記録を参考にして関わる
- ④ 自宅での療養に戻ったときのフォローアップを考える

4. 不安・ストレスの軽減 Help children cope with stressful experience

子どもたちは、つらいことがいっぱい入院生活に、自分なりに適応し、自分を守っている。そうした子どもへの対処を支援することが重要である。

(1) ストレスプロセスの理解

(2) 対処資源・対処行動のアセスメント

(3) セラピューティック・プレイ … 後述

(4) サイコロジカル・プリパレーション

- ① 情報提供
- ② モデリング
- ③ 対処行動の促進

(5) 対処方略の選択

(6) 強いストレスにさらされた子どもへの支援(PTSS、PTSR)

- ① 安全の保証
- ② ソーシャルサポート
- ③ 感情表出

5. セラピューティック・プレイ

患児の発達を促進し、疾患・治療及び療養生活に伴うストレス状態に対する対処を支援することで、心的外傷を予防しようとする予防的・発達的なアプローチの手段として子どもに提供する遊びと、その過程。

(1) セラピューティック・プレイの分類

(2) セラピューティック・プレイの留意点

(3) メディカルプレイとその留意点

メディカルプレイがセラピューティックであるのは、「遊びに自分の経験を反映させることで、受動的立場から能動的立場へと自己の立場を変えることができる」からであり、「役割を転倒させることによって、病院での多くの医療従事者の役割理解や自分のおかれている非日常の状況を理解し、自分の置かれている立場を自ら受け入れやすくする」。

(4) 遊びに関わるインシデント・アクシデント

6. 兄弟姉妹の支援 QOL of siblings

(1) 兄弟姉妹の抱えやすい問題

- a 親がいない寂しさの中で生活しており、自分の方を向いて欲しい気持ちがある
- b 病気の兄弟姉妹にできることがあればと思っても、親が病気のことを教えてくれず、闘病のネットワークの蚊帳の外におかれることが少なくない
- c 自分も病気になるのでは、死んでしまうのではと不安になっても、親に遠慮して聞けない
- d 親に対して強く要望が出せず、感情を抑圧する傾向がある
- e 兄弟姉妹が青年期・成人期にいたって問題が顕在化することもある

(2) 兄弟姉妹の支援の基本課題

- ① 兄弟姉妹のために時間をとることが必要などときがあることを保護者に理解してもらう
- ② 病院にやってくる幼い兄弟姉妹には、安全の確保と、遊びの場と遊び相手の提供が必要である
- ③ 兄弟姉妹のための情報と人間関係を提供する必要がある。兄弟姉妹固有の悩みがあるため、一緒に考えてくれる仲間が必要である(ピアサポート)
- ④ 必要に応じて相談に乗ってくれる人が必要である
- ⑤ 兄弟姉妹の学校における、担任による見守りが必要である
- ⑥ 院内学級教師は、保護者と相談し、兄弟姉妹のための支援を計画化する

演習

セラピューティック・プレイの体験

心の痛みの体験のグループワーク

喪失体験のグループワーク